

## ご質問

### ■NTT東日本に対して

(相田主査)

・公衆無線LANを無料で提供した際にユーザ認証画面等はどうにしたのか。その画面で「あなたがここで無線LANを使用したことを安否確認情報として公開してもよろしいでしょうか」といった確認を取ることはどの程度難しいのか。

(服部主査代理)

・通信断絶となった時間はどの程度なのか。

(例えばトラヒック規制や障害によりインターネット利用出来なかった時間とエリアの実態 等)

### ■NECビッグロブに対して

(相田主査)

①第1回WG資料12ページで「利用者より緊急通信を指定する仕組み」とあるのは具体的にはどのような方法を想定されているか。

②第1回WG資料15ページで「情報集約システムへのリンク」と書かれていますが、情報集約システムがボトルネックとなることについてどのようにお考えか。

## ご要望

### ■構成員全体に対して

(服部主査代理)

・震災直後からの時間的な回復の経過、状況の経過のデータをお願いしたい。

# 第1回会合プレゼンテーションに対する構成員からのご質問等について

## ご意見

### ■服部主査代理

#### ①安否確認情報の流通について

- ・人の安否に関するサービスがいろいろ提供されましたが、相互の連携が望ましい(パーソン・ファインダー、伝言ダイヤル、安否確認 等)
- ・入力方法として、音声による方法とデータ入力による2種類があるが、これらについても相互の連携が望ましい。
- ・どのようなシステムが利用可能かの周知をラジオおよびテレビの放送で早い段階で周知することが望ましい。
- ・携帯に対しては、プッシュ型でユーザに知らせることが望ましい。

#### ②震災状況の情報の共有について

- ・道路状況、被災状況、不足物資などの情報のインプットと入手の複数ルート化が望ましい。
- ・全国レベルの情報、地域情報とを分けるメカニズムが必要ではないか。
- ・情報の確からしさを何らかの形で定量化することが望ましい。(人聞きの情報か、現地確認情報かなどの識別)
- ・また不確かな情報は削除するなど混乱を回避することが必要。
- ・システムとして連携することを検討する。
- ・既存のシステムで実現可能なものと新たに構築が必要なものの仕分けを行うこと。
- ・これらを日常の中で利用するシステムとして実現することが必要。

#### ③トラヒック規制

- ・一部のユーザが極めて大きなトラヒックを発生させ、それが全体の効率に重大な支障をきたす可能性を回避することが必要。

#### ④情報の保全

- ・自治体や国レベルの情報をミラーリングなどにより保全することが必要。

#### ⑤利用技術に関しての定期的なトレーニング

- ・防災の日などにおいて、利用技術に関するトレーニングを行うこと。